

2010 福岡市長選挙

吉田氏(現職)2期目の当選ならず

福岡市医連ニュース

福岡市医師連盟
福岡市早良区
百道浜1-6-9
福岡市医師会内
委員長
江頭 啓介

江頭委員長

「連盟員の多大なる支援に感謝」

▽ 11月14日(日)、福岡市長選の投票が行なわれました。戦後最大の8名が立候補を表明しましたが、選挙告示後に候補者の一人が撤退する等、各陣営の選挙戦は、まさに混戦・激戦の内容でした。今回の市長選は、国政での政権与党の政治手腕への批判や「市の領域を超えた政治的圧力」があったと囁かれる等、候補者各人の選挙公約を争点とする戦いではなく、与野党の戦いのイメージが色濃いものとなった感がありました。

▽ 投票率は約44%と前回の市長選の投票率を若干上回って

おり、この度、福岡市医師連盟としては、現職の吉田宏氏への支援を行って参りましたが、結果は保守系候補の高島宗一郎氏の初当選となりました。まずは、

福岡市長選挙開票結果(福岡市選挙管理委員会発表:投票率43.67%)

当 高島 宗一郎 氏(36)	209,532票	※自民、公明支持
吉田 宏 氏(54)	144,828票	※民主・国民新推薦、社民支持
木下 敏之 氏(50)	74,228票	
有馬 精一 氏(59)	21,500票	※共産推薦
植木 とみ子 氏(61)	13,277票	
荒木 龍昇 氏(58)	12,313票	
飯野 健二 氏(49)	5,445票	
内海 昭徳 氏(32)	5,410票	

この支援体制を支えて下さいました連盟員の皆様に感謝申し上げます。

福岡市の医療・福祉の為、 今後とも変わらぬ連携を

▽ 福岡市医師連盟では、吉田氏の推薦を決定するにあたり、現職推薦案に対して肯定的な意見が多数でしたが、現職一本で推薦するか、もしくは現職と保守系候補の2名を推薦するか協議を行いました。本連盟では昭和43年以来、現職が引退を表明した場合を除き、全て現職を推薦してきたこと、これまで公衆衛生・在宅医療・看護師養成等の保健医療活動において、福岡市と良好な関係が構築されており、この関係を継続し充実させていくことが重要であるとの判断から、吉田氏を推薦することを多数決にて機関決定しましたが、各区での候補者への支援活動は各区の事情に鑑み、各

▽ 今回の選挙結果を受けて本連盟は、市民の安全・安心な生活や、健康で豊かなまち「ふくおか」を実現する為に、今後も政局の動向を見守り、我々の意志を生かす道を冷静に探っていく必要があると考えております。これから福岡市政は新市長を迎え1期目のスタートとなりますが、医療・福祉の充実・発展の為、福岡市と良好な関係を構築してきた実績を生かしながら、これまでどおり変わらぬ連携を続けて参りたいと考えておりますので、連盟員の皆様の一層の団結と積極的なご支援・ご協力を賜りますことを、心よりお願い申し上げます。

福岡市医師連盟事務局
(☎852-1742 FAX852-1510)